

2026年3月期 決算説明資料

2026年6月1日



目次

1

2026年3月期 決算概要／トピックス

2

2026年3月期 決算詳細

1

2026年3月期 決算概要／トピックス

2

2026年3月期 決算詳細

- 「売上高」は、物流事業や機能開発事業における取引が好調に推移し増収
- 「経常利益」・「当期純利益」は、主に卸売事業における業務効率化による収益改善が寄与し、前年実績を上回る着地（5期連続で最高益更新）

売上高
2兆1,230億円
(前期比 +22億円)

経常利益
359億円
(前期比 +26億円)

親会社株主に帰属する当期純利益
239億円
(前期比 +7億円)

主なトピックス

経営計画「MS Vision 2030」は順調な進捗
(5期連続最高益更新+4期連続ベースアップ)

課題認識

国内需要の縮小と変化

リアルとネットでの
ハイブリッド競争激化

複雑化する社会的要請

組織や人財の
学習スピードが重要に

当社の強み（経営資本）

デジタル資本
(データ基盤)

人的資本

物流資本

社会関係資本
(パートナーネットワーク)

財務資本



成長戦略

デジタル活用

新たな需要の獲得

人的資本強化
(人財育成)



サステナビリティ重点課題

環境



地域・暮らし



健康



価値創造の基盤



デジタル活用

- ① 共同配送コンソーシアム「CODE」
- ② サプライチェーン効率化に向けた協業
- ③ 基幹システムの刷新プロジェクト
- ④ AI活用に向けた取組み
- ⑤ DD(データ×デジタル)マーケティング
- ⑥ 流通ISAC

新たな需要の獲得

- ⑦ 海外成長戦略
 - ・全体像
 - ・ASEAN/DKSH
 - ・米国/Yami
 - ・欧州/JFE
- ⑧ 米国外食事業への挑戦

デジタル活用

- 1 共同配送コンソーシアム「CODE」
- 2 サプライチェーン効率化に向けた協業
- 3 基幹システムの刷新プロジェクト
- 4 AI活用に向けた取組み
- 5 DD(データ×デジタル)マーケティング
- 6 流通ISAC

新たな需要の獲得

- 7 海外成長戦略
 - ・全体像
 - ・ASEAN/DKSH
 - ・米国/Yami
 - ・欧州/JFE
- 8 米国外食事業への挑戦

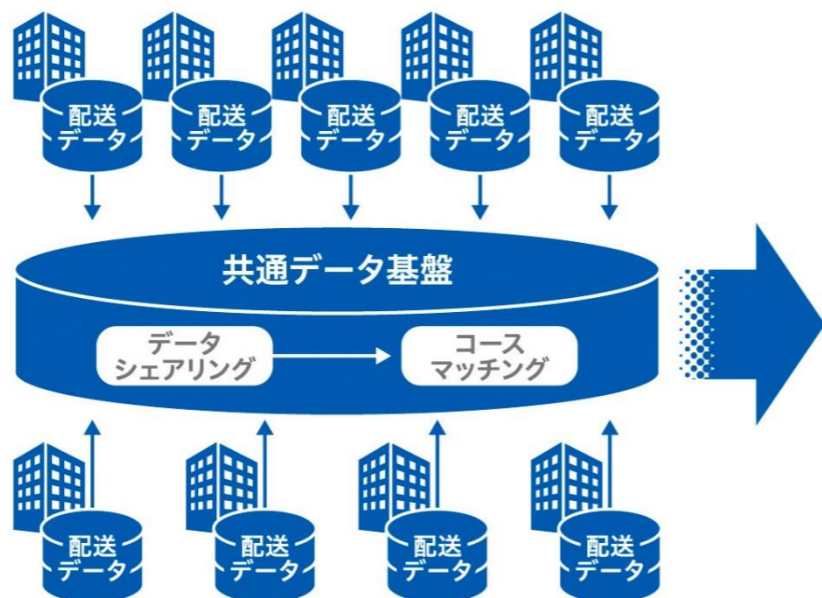
共同配送コンソーシアム「CODE」を発足

業界横断の荷主連合(9社参加)による共同コンソーシアム「CODE」を発足

コンソーシアム参加企業と共に物流データに基づいた共同配送を推進し、業界を横断した配送効率化とリソース最適化を通じ、物流の持続可能性向上への貢献を目指す

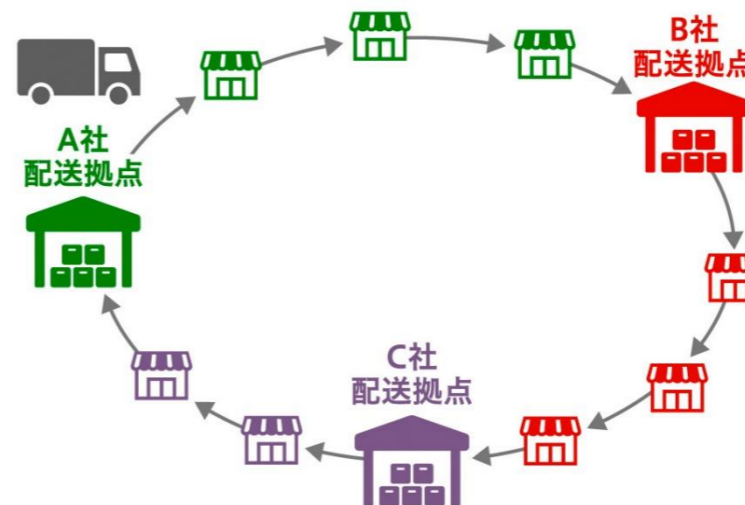
共同配送コンソーシアム(CODE)のイメージ

共通データ基盤へ各社配送データを集約



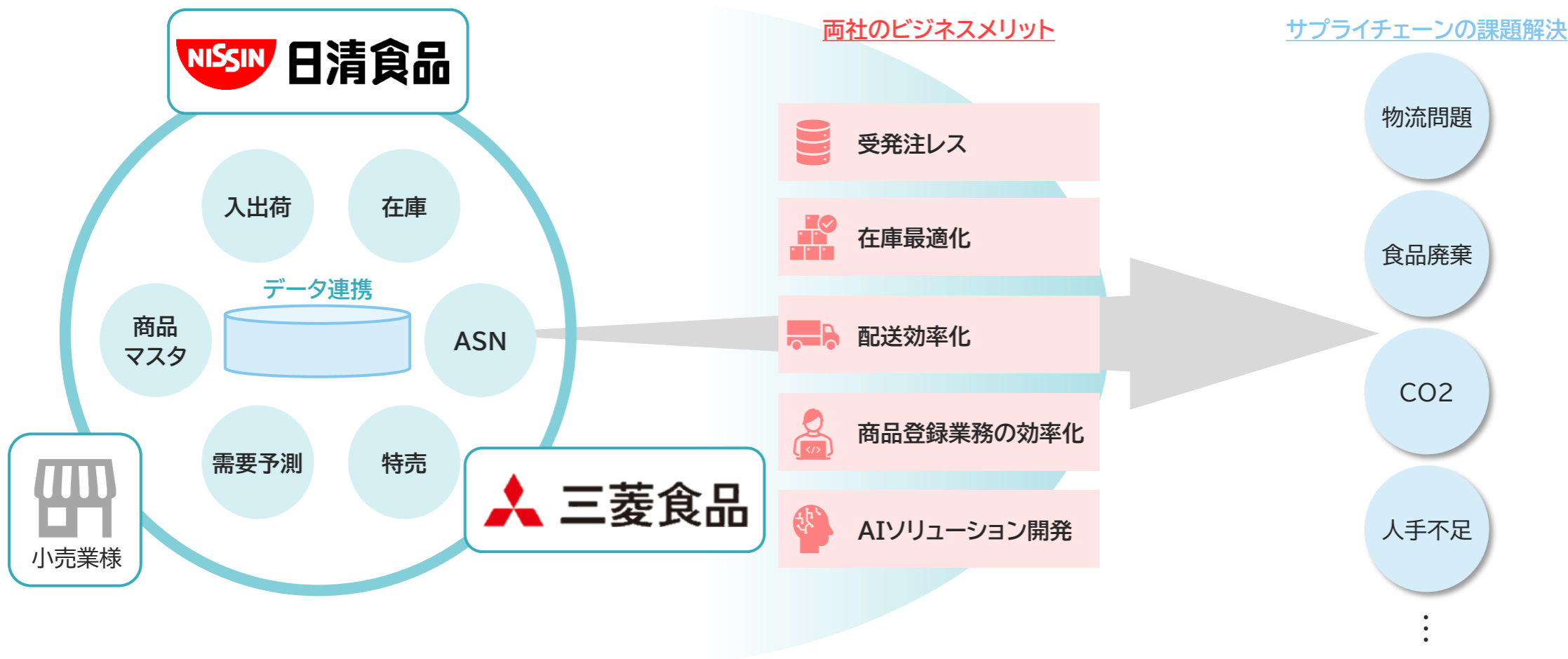
コースマッチングによる配送効率化

各社の配送コースを組み合わせ、
車両稼働率アップ



サプライチェーン関連データを連携し、効率化と自動化を推進

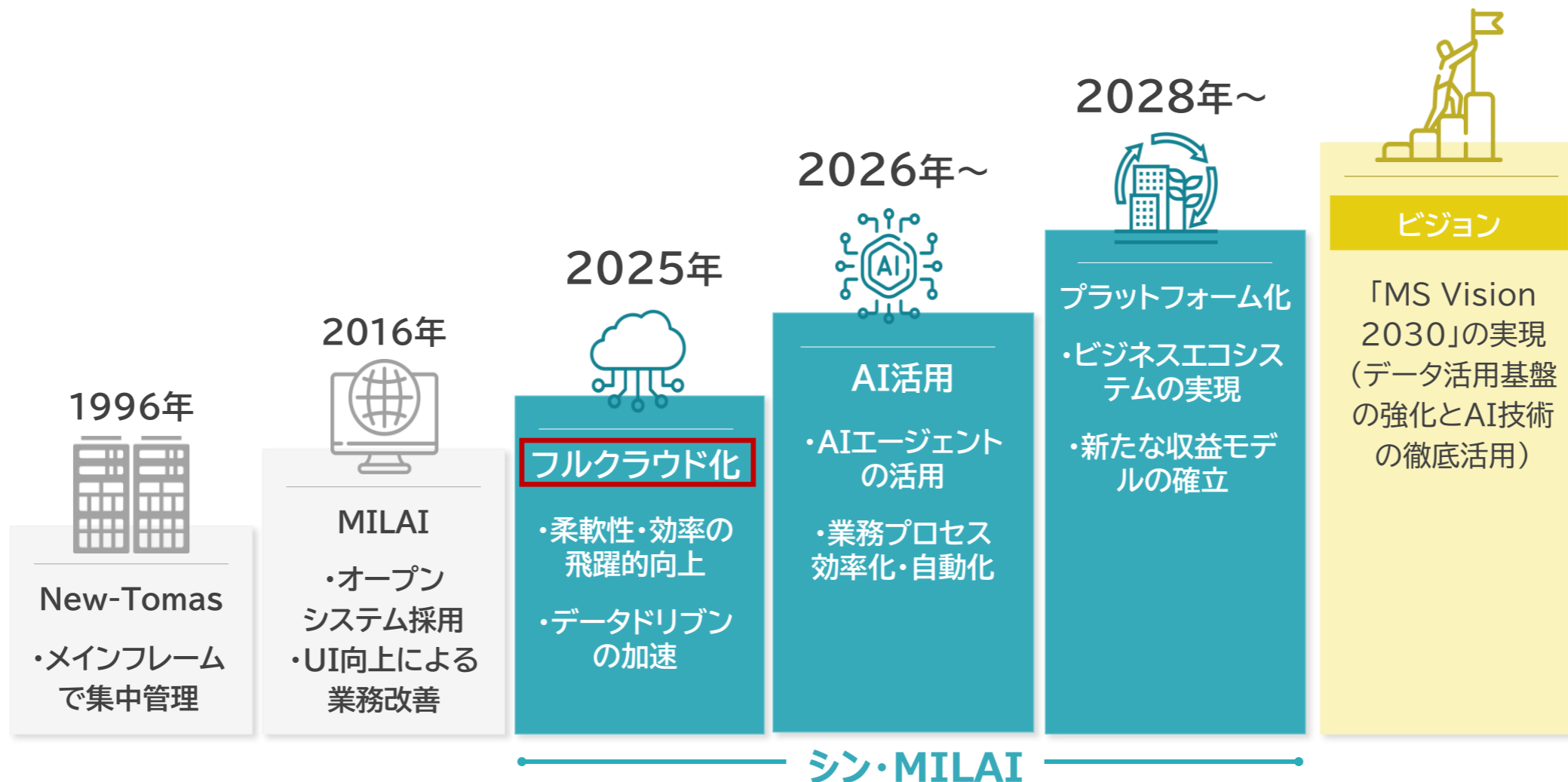
両社の協業を通じて、業務効率の向上と物流負荷の低減を実現するとともに、食品流通業界全体の生産性向上ならびに持続可能なサプライチェーンの構築を目指す



基幹システムの刷新プロジェクト

基幹システムのフルクラウド化を実現

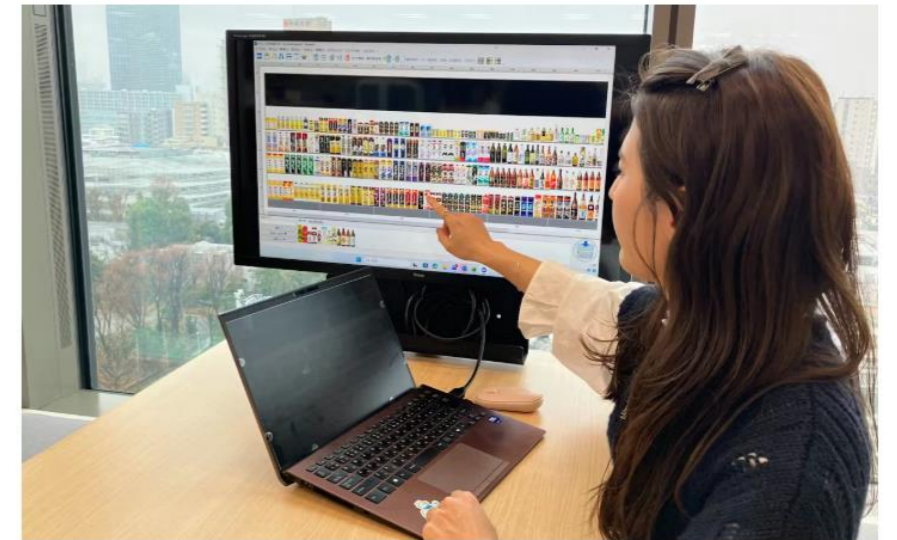
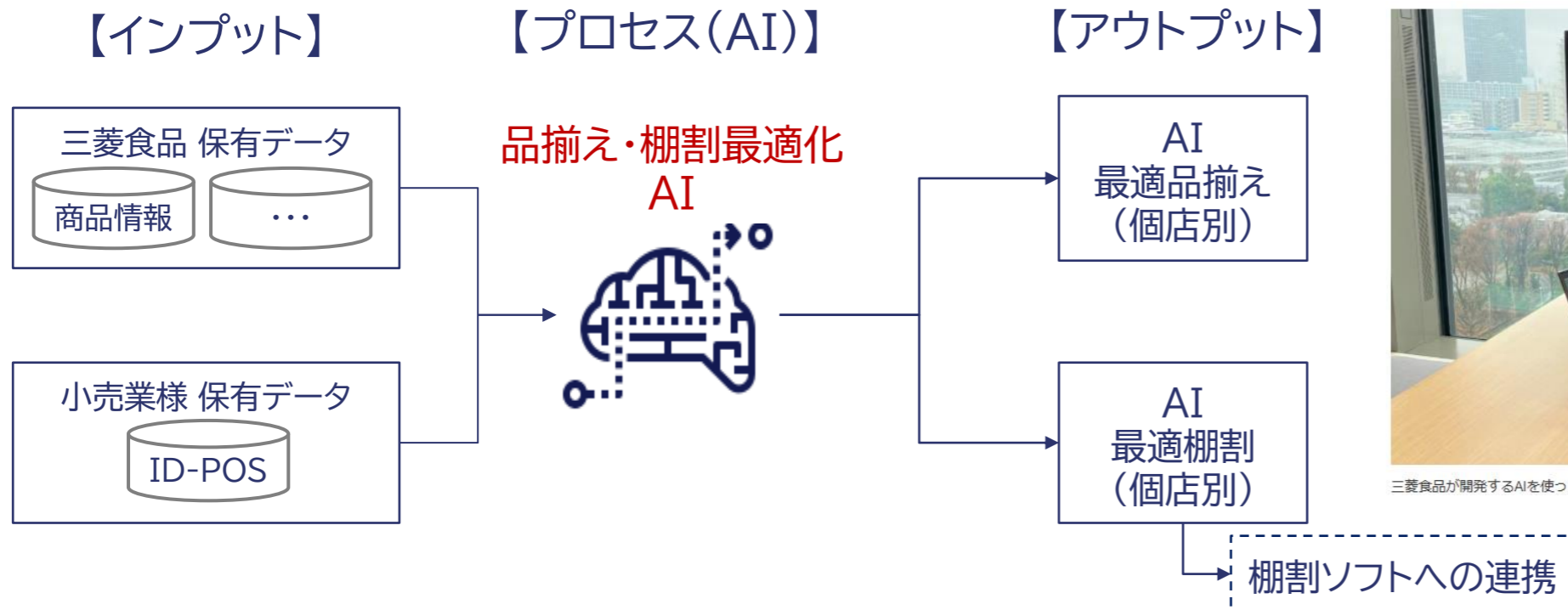
AIエージェントの活用や業務プロセスの高度化を通じて、さらなる生産性向上と新たな価値提供を実現



AI活用に向けた取組み

データとAIを活用し、店舗単位の品揃え・棚割り案を短時間で生成する仕組みを構築

棚割り提案の標準化・高速化により、小売業様の売場改善PDCAの高度化を通じた売上向上に貢献



三菱食品が開発するAIを使った商品陳列システムのイメージ

DD(データ×デジタル)マーケティング

小売業様・メーカー様の様々な課題を適切なデジタルソリューションで解決し、
多彩化する生活者に楽しい買い物体験を提供

- 小売業様との取組
- 全国のお取組先様と、様々なデータを活用した集客・販促施策を遂行し、新規顧客獲得や顧客育成、客単価アップに寄与
- メーカー様との取組
- 100社を超えるメーカー様と、多岐に亘るブランドにおいて、広告・販促領域を横断させることが可能なデジタル施策を展開し、メーカー様商品の認知・購買アップに貢献



リアルとデジタルを組み合わせ、
小売業様・メーカー様の課題を解決!

売りたい商品のターゲットが
どこにいるかわかる!

**生活者
理解**

見た!
(店外)

ターゲットに応じた
**ダイレクト
情報発信!**

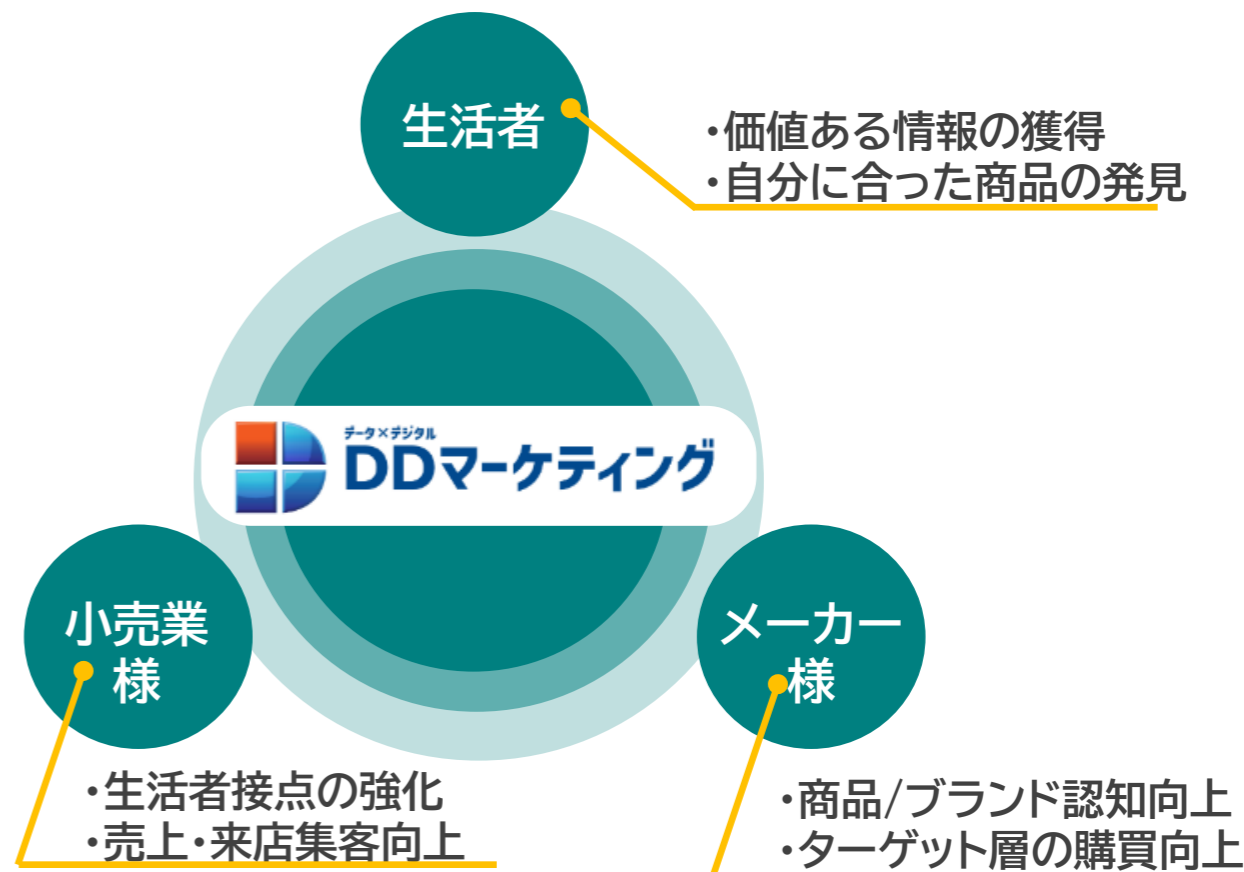
購買・販促の検証により
**ターゲットの
動きを捕捉!**

買った!
(検証)

来た!
(店内)

ターゲットの
位置情報を活用した
販促を実行!

“商品”と“情報”を同期させることで豊かな食生活を
実現するべく新たな価値の創出にチャレンジ



流通ISACの設立

サイバーリスクの共助体制により、安全で信頼性の高い流通基盤の実現に貢献



一般社団法人 **流通ISAC**
Retail ISAC JAPAN

食料品・日用品の安定供給を守るため、製造・卸・小売の三業態が連携するセキュリティ情報共有組織

目的

ベストプラクティスの整理

脅威情報・インシデント情報の収集・分析・共有

情報セキュリティの啓発・人材育成

(卸サプライチェーン上のサイバーセキュリティリスク)



デジタル活用

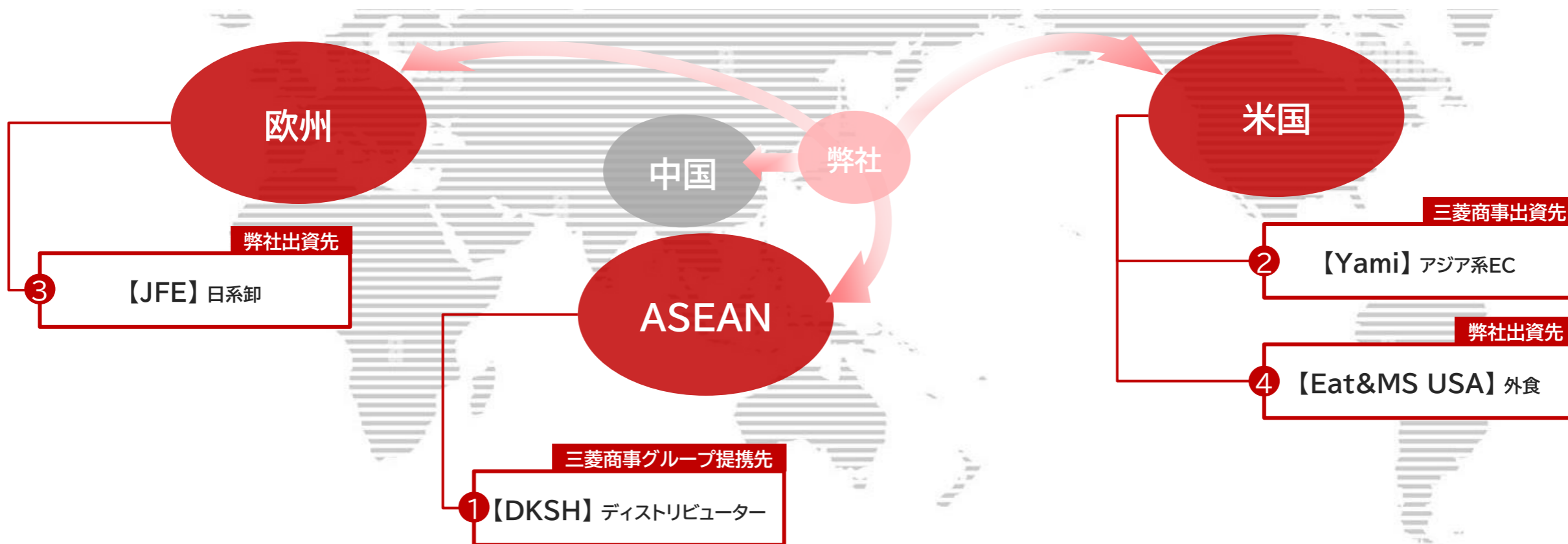
- ① 共同配送コンソーシアム「CODE」
- ② サプライチェーン効率化に向けた協業
- ③ 基幹システムの刷新プロジェクト
- ④ AI活用に向けた取組み
- ⑤ DD(データ×デジタル)マーケティング
- ⑥ 流通ISAC

新たな需要の獲得

- ⑦ 海外成長戦略
 - ・全体像
 - ・ASEAN/DKSH
 - ・米国/Yami
 - ・欧州/JFE
- ⑧ 米国外食事業への挑戦

海外戦略の全体像

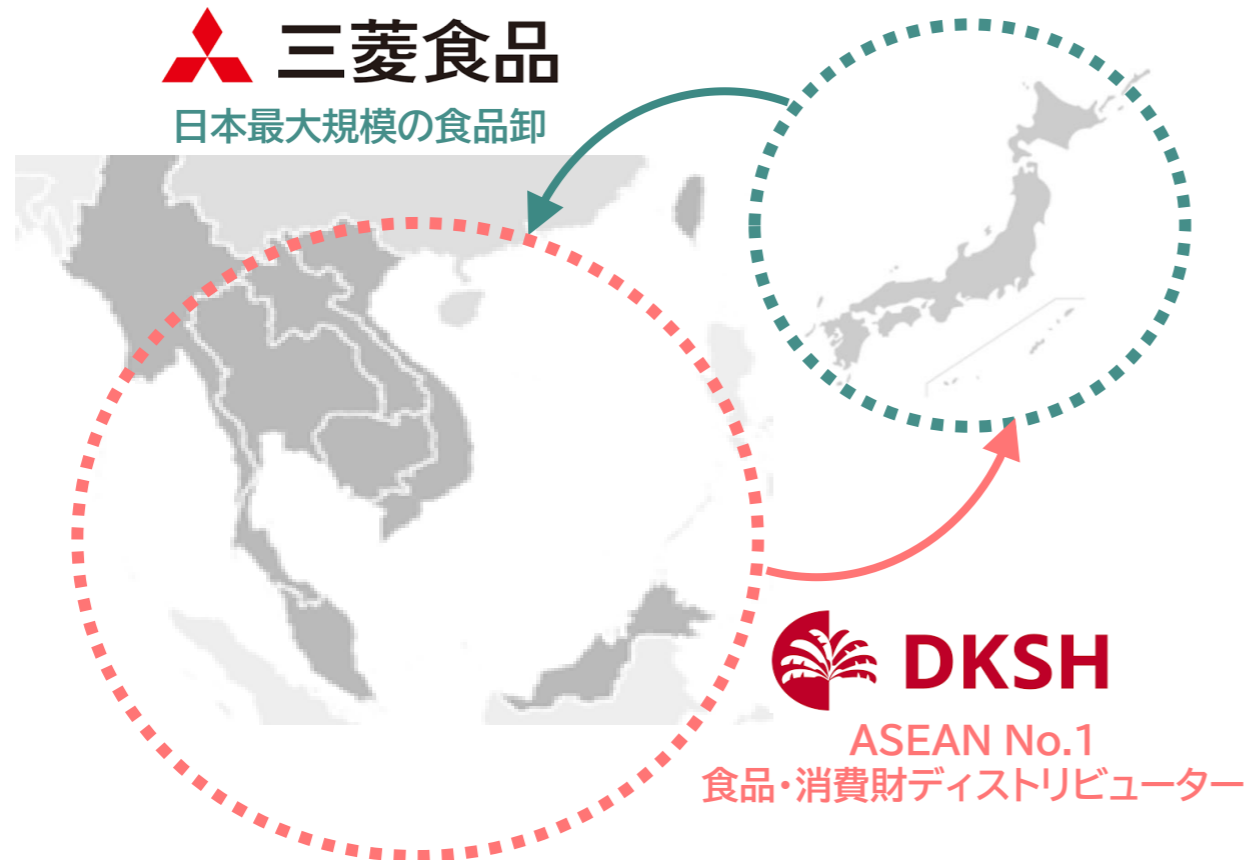
25年度の欧州参入(JFEへの資本参画)に続き、成長市場であるASEAN・米国での取組を本格化
輸出・事業投資の両輪で、日本食品の海外需要を喚起・獲得する



海外成長戦略(ASEAN/DKSH)

① ASEAN最大手の食品・消費財ディストリビューター「DKSH」との戦略的業務提携

DKSHのASEANにおける強固な事業基盤と三菱食品の商品調達力・コールドチェーンを含む物流知見等を組み合わせることで、ASEANをリードする日本食品の流通プラットフォーム構築を目指す



DKSH ASEANにおける流通チャネル

全小売チャネル対応、約50万店舗に配荷可能

① 近代小売



② 伝統小売



③ フードサービス・ホテル



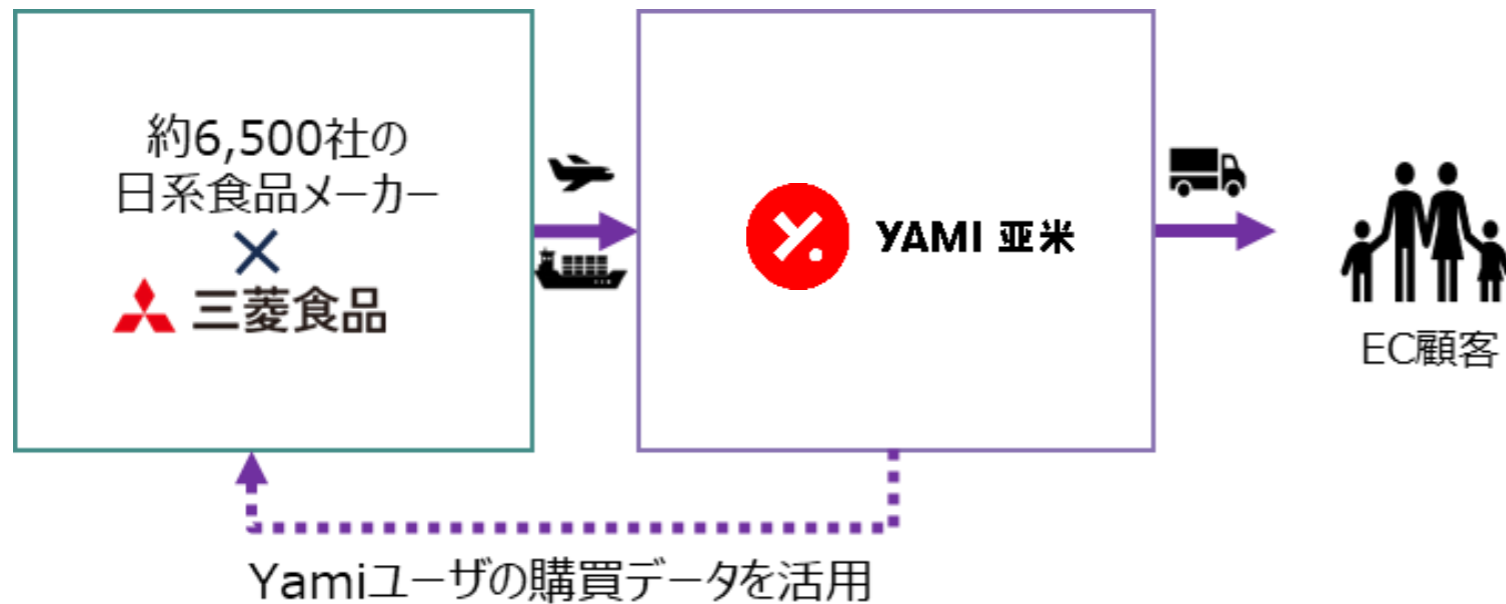
④ EC



海外成長戦略(米国/Yami)

② 米国アジア系EC事業者「Yami(ヤミー)」との業務提携

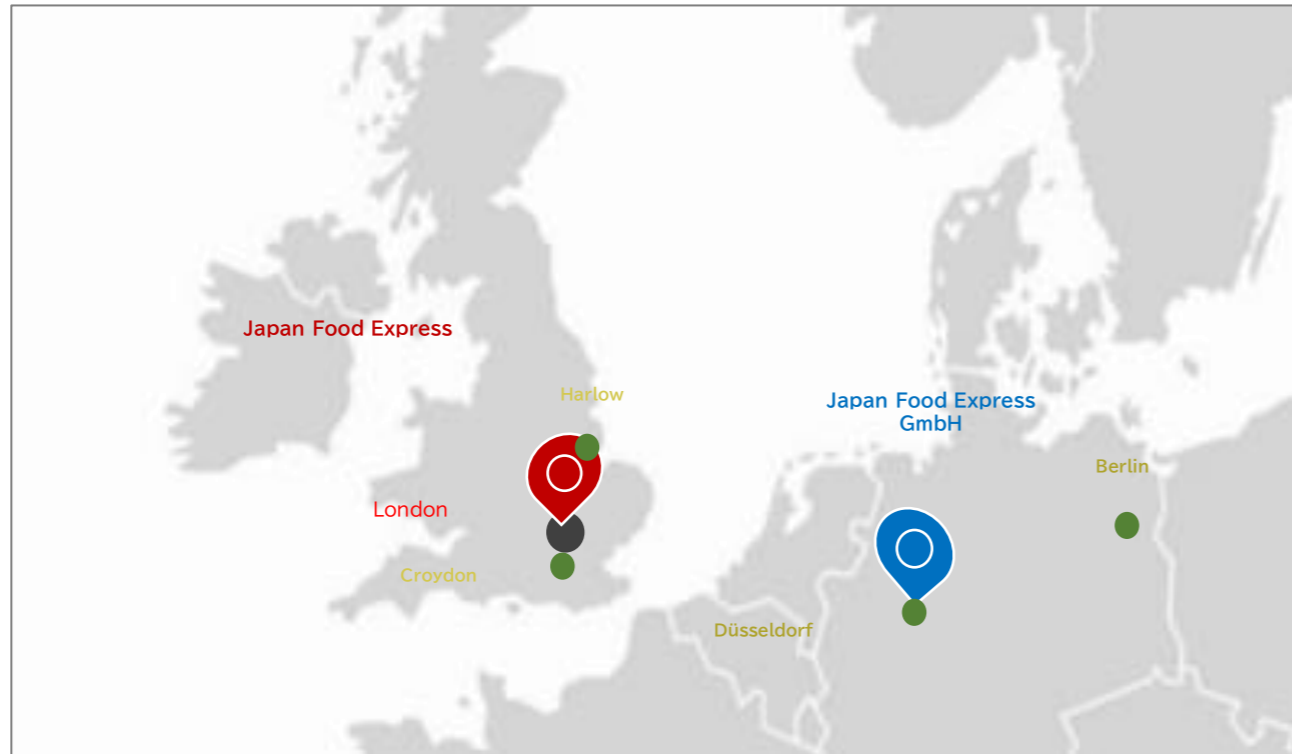
三菱商事が資本参画する米国のアジア系EC事業者 Yamiと連携し、多種多様な消費者ニーズに応える『アジア系商品の北米ポータル』の構築を目指す



海外成長戦略(欧州/JFE)

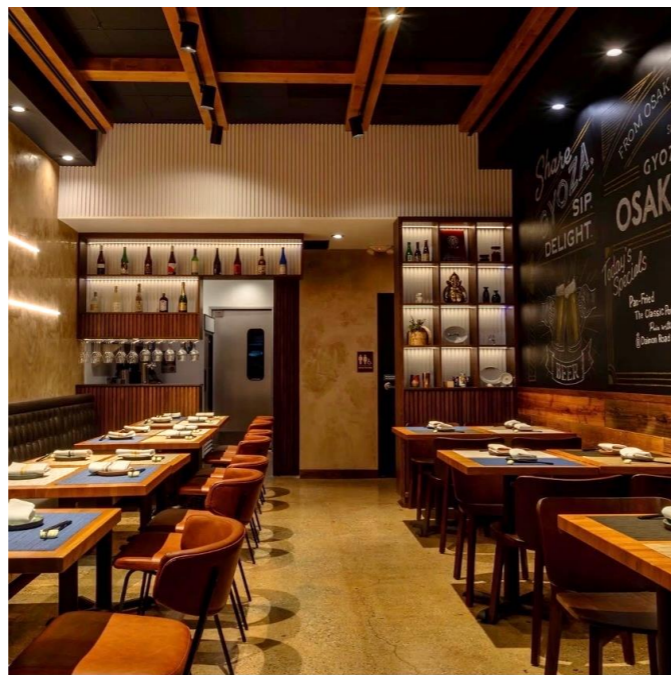
③ 英国・ドイツの食品小売・外食・卸売事業を展開するJapan Food Express Ltd.へ出資

欧州への日本食材の輸出を拡大し、欧州における日本食の販売基盤を確立する



④(株)イートアンドHDとの米国合弁会社「EAT & MS USA INC.」を通じた市場開拓

5月8日(土)ロサンゼルスに旗艦1号店「OSAKA OHSHO GYOZA & TAPAS」をオープン



1

2026年3月期 決算概要／トピックス

2

2026年3月期 決算詳細

単位:億円	25.3期	26.3期	前期比増減	
			額	率(%)
売上高	21,208	21,230	22	0.1
売上総利益	1,550	1,658	107	6.9
販管費	▲1,235	▲1,329	▲94	▲7.6
営業利益	316	329	13	4.1
経常利益	333	359	26	7.9
親会社株主に帰属する当期純利益	232	239	7	3.2

セグメント別業績

単位:億円	売上高				経常利益			
	25.3期	26.3期	増減額	増減率 (%)	25.3期	26.3期	増減額	増減率 (%)
卸売事業	19,001	18,908	▲93	▲0.5	284	295	10	3.6
ブランド開発事業	329	335	6	1.8	4	15	11	275.9
物流事業	1,432	1,528	96	6.7	37	42	6	15.1
機能開発事業	446	459	13	2.8	23	19	▲4	▲16.1
DDマーケティング	25	26	2	6.4	4	1	▲4	▲86.5
海外	11	14	2	20.1	▲7	▲8	▲1	▲19.8
メーカーサポート	410	419	9	2.1	26	27	1	5.3
調整	-	-	-	-	▲15	▲12	3	22.4
合計	21,208	21,230	22	0.1	333	359	26	7.9

品種別売上高

単位:億円	25.3期		26.3期		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
加工食品	6,175	29.1	6,235	29.4	60	1.0
缶詰・調味料類	2,401	11.3	2,412	11.4	11	0.5
麺・乾物類	1,473	7.0	1,487	7.0	14	1.0
嗜好品・飲料類	2,301	10.8	2,335	11.0	35	1.5
低温食品	5,278	24.9	5,371	25.3	93	1.8
冷凍食品類	4,379	20.7	4,487	21.1	108	2.5
チルド食品類	900	4.2	884	4.2	▲16	▲1.7
酒 類	4,619	21.8	4,203	19.8	▲416	▲9.0
ビール類	2,502	11.8	2,166	10.2	▲336	▲13.4
その他酒類	2,117	10.0	2,037	9.6	▲79	▲3.8
菓 子	3,013	14.2	3,176	15.0	163	5.4
その他	2,123	10.0	2,245	10.5	121	5.7
合計	21,208	100.0	21,230	100.0	22	0.1

※ 各品種の金額には物流収入が含まれており、各商品カテゴリーの金額(品種の合計金額)にも物流収入が含まれております。

業態別売上高

単位:億円	25.3期		26.3期		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
卸売	1,965	9.3	1,966	9.3	1	0.0
SM・GMS	9,369	44.2	8,938	42.1	▲431	▲4.6
CVS	4,061	19.1	4,198	19.7	137	3.4
ドラッグストア	1,743	8.2	1,777	8.4	34	2.0
DS他直販 ※	2,661	12.5	2,799	13.2	137	5.2
その他業態	1,409	6.7	1,553	7.3	144	10.2
合計	21,208	100.0	21,230	100.0	22	0.1

※ ディスカウントストアを含むその他直販業態への売上であります。

連結貸借対照表/連結キャッシュ・フローの状況

単位:億円		25.3期 期末	26.3期 第末	単位:億円		25.3期	26.3期
流動資産	流動資産	6,234	5,697	営業活動による キャッシュ・フロー	117	338	
	固定資産	1,518	1,644		投資活動による キャッシュ・フロー	▲124	▲149
資産合計		7,752	7,341	財務活動による キャッシュ・フロー	▲90	▲856	
流動負債	流動負債	5,241	5,348	現金及び現金同等物 期末残高	1,028	361	
	固定負債	322	341				
負債合計		5,563	5,689				
純資産合計		2,189	1,652				
負債純資産合計		7,752	7,341				

APPENDIX

APPENDIX:セグメント説明

卸売事業

仕入先 約6,500社、得意先 約3,000社をつなぐ、食のサプライチェーン全体の最適化・効率化を支えるHUB機能

サプライチェーンの強靱化を推進すると共に、盤石な収益基盤として更なる成長を目指す

ブランド開発事業

多様化する国内市場のニーズに即したオリジナル商品の開発、及び海外輸入ブランドの調達機能

自社オリジナル商品、海外輸入商品の販売を通じた、高い利益率の獲得を目指す

物流事業

共同配送・得意先専用物流センターの運営受託、及び上流物流(メーカーの運べないリスクに対する引き取り物流等)といった3PL機能

更なる物流効率化、同業他社や非食品分野の顧客との協業により、規模感のある事業への成長を目指す

機能開発事業

DDマーケティング

当社の保有するビッグデータや生活者理解のノウハウを活かした広告・販促効果の最大化を図る機能

海外

「日本食文化の輸出」をテーマに製造・卸売・小売・外食を問わない海外事業の展開、及び本邦パートナーの輸出拡大や海外展開支援機能

メーカーサポート

メーカーへの原料資材供給、営業代行、代理店取引等のメーカー支援機能

当社機能の高付加価値化による収益確立を目指す

		<u>2024</u> (実績)	<u>2025</u> (実績)	<u>2027</u> (目標)	<u>2030</u> (目標)
経済価値	経常利益	333億円	359億円	380億円	500億円
	当期純利益	232億円	239億円	270億円	350億円
社会・環境価値	食品廃棄量削減率 (2016対比)	18.2%	29.8% (速報値)	33.4%	50.0%
	CO ₂ 排出量削減率 (2016対比)	55.3%	73.6% (速報値)	57.2%	60.0%
無形資産	社員エンゲージメント	64%	64%	65%以上	70%以上

ケース単価推移

(単位:円)

合計	上期平均	下期平均	年平均
2024年度	3,058	3,313	3,181
2025年度	3,243	3,545	3,389
増減率	6.1%	7.0%	6.6%

加工食品	上期平均	下期平均	年平均
2024年度	2,548	2,788	2,664
2025年度	2,701	2,971	2,831
増減率	6.0%	6.5%	6.3%

酒類	上期平均	下期平均	年平均
2024年度	3,599	3,678	3,637
2025年度	3,908	3,993	3,950
増減率	8.6%	8.6%	8.6%

冷食+アイス	上期平均	下期平均	年平均
2024年度	4,117	5,001	4,508
2025年度	4,253	5,148	4,651
増減率	3.3%	2.9%	3.2%

菓子	上期平均	下期平均	年平均
2024年度	2,718	2,912	2,818
2025年度	2,918	3,155	3,039
増減率	7.4%	8.3%	7.9%



広報・ブランディンググループ

E-mail: kouhou-1@mitsubishi-shokuhin.com

決算に関するご質問のご依頼はこちらまでお問い合わせください

